

令和3年度 学校評価表(計画・中間・**最終**)
【5月末・11月末・3月初旬】

学校名(熊野第三小学校)

a 学校教育目標	自ら鍛え つよく かしこく 自ら磨く やさしい子	b 経営理念 ミッション・ビジョン	熊野町教育行政施策の方針「成長が”実感”できる教育の推進」 共に高まり合う熊三小 学校文化の創造
-------------	-----------------------------------	-------------------------	---

評価計画(5月末提出)					自己評価					学校運営協議会委員による評価			n改善方策		
c 中期経営目標 (3年後を見据えて)	d 短期経営目標 (今年度)	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	h	達成値	i=h/g	j 評価 A~D 4段階 評価	k 結果と課題の説明 (短期経営目標につ いての評価結果)	l 自己評価に関する評価 (関係者評価者の合計人数)			m コメント	10月	2月
					10月	2月	達成度			イ 適正	ロ 不適正	ハ 分 か ら な い			
・ ・ ・ 健確豊 やかか かなな な学心 体力の 育成 【向上心】 ・何度でもあきらめず にチャレンジする子 【分かる・できる力】 ・学びを深める子 【表現力】 ・分かりやすく伝える 子 【思いやり】 ・優しく接する子 の育成	向上心を高める	○生活科・総合的な学習の 時間の充実 ・子供基点の探究のプロセ ス ○「向上心」を育てる場の工 夫 ・体力向上を図るための手 立て の充実 ・主体的に学ぶ授業づくり ・異学年活動の工夫	・発達段階別の児童 への意識調査 (肯定的評価の割合: ア) ・教職員への意識調 査 (肯定的評価の割合: イ)	80%	83%	93%	116%	A	「向上心」に関する意 識調査では、肯定的 な評価をした児童 は、3つ質問項目平 均10月の83%を1ポ イント上回り89%に なった。 同様の質問に肯定 的な評価をした教職 員は10月の78%を 12ポイント上回っ て上昇した。	8	0	0	向上心への取 組の成果が、 「二重跳び」や 「ありがとうの 木」の取組に表 れている。教職 員が、上半期 のの評価を意 識して改善に 向けて取り組ん でいったことが わかった。	「主体的な学び」に 向けて大型電子黒 板やICTなど効果 的に活用しながら、 学習に興味をもた せる。 「思いやり」を感じ られる機会や場の工 夫を取り入れるな ど教師側の意識を 高める。	年間を通して、生活 科・総合的な学習の 時間に、児童が主体 的に探究的な学習に 取り組めるような授 業展開をしたこと、ま た、「ありがとうの木」 の取組を児童が主 体に取り組めるよう な働きかけをしたこと で改善されたと考え られる。
その他	共に高まり合う熊三 小学校文化の創造	○保護者・地域参加型の活 動の充実 ・「ありがとうの木」の取組へ の参加(教職員・児童・保 護者・地域)	・保護者への意識調 査 (肯定的評価の割合) ・保護者・地域の方 の「ありがとうの木」 の記述内容	80%	92%	93%	116%	A	保護者・地域参加型 の活動はできなかった が、分散参加や蜜 を避ける等の工夫を して保護者やゲスト ティチャーを招く活 動をいくつかするこ とができた。 保護者への意識調 査では、2月の年度 末に93%の肯定的 評価を得ることが できた。	8	0	0	今後も交流でき にくい状況が考 えられる。地域 や保護者と協 力できるような 取組を学校と 共に考え工夫 し、推進してい きたい。	学校外の人との直 接的な教育活動 を実施することが難 しい状況であるた め、「ありがとうの 木」の花や実を保 護者など関りのあ る大人にも配布し、 記述してもらいな い、子供たちと計画 し、取り組んでい く。	難しい状況であつた が、数人の地域の方 々にコメントをいただ いた。今後でもできる だけ地域の方と児童 が触れ合う機会を作 れるよう交流する場 を設けるようにしたい。

j評価 A~D 4段階評価
 A: 100 ≤ (目標達成)
 B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80
 D: (できていない) < 60